

Topic 1

「小野町新庁舎建設基本設計」に基づいた、新庁舎の
その概要をお知らせします。

具体的な構造や詳細な設計・仕上げを盛り込んだ実施設計がまとまりましたので、

設計方針

新庁舎整備の基本理念

町民の安全・安心の拠点となり持続可能な行政サービスを提供する庁舎

- ①防災拠点として機能的で強い庁舎
- ②山に抱かれた美しい丘陵地にふさわしい小野町の象徴となる庁舎
- ③多様な利用を可能にする庁舎
- ④町民の生活をサポートできるかたちをもつ庁舎

4つの機能を統合した複合施設

- ・行政機能
- ・保健センター機能
- ・防災拠点機能
- ・地域コミュニティ施設機能

建物概要

項 目	内 容
所 在 地	小野町大字小野新町字美売32番地
敷 地 面 積	9,899.56㎡
延 床 面 積	2,975.01㎡(庁舎)
構 造	木造+鉄筋コンクリート造2階建て(耐震構造)
ZEBランク	ZEB Ready(省エネで50%以上削減)
昇 降 機	乗用エレベーター11人乗り1台
その他施設	倉庫、車庫、駐輪場
事 業 費	2,728,000千円(継続費)※

※事業費には、庁舎建設工事費のほか、工事監理業務委託料を含みます。

今後のスケジュール(予定)

令和10年度の新庁舎開庁に向け、工事発注や工事契約の議決など必要な手続きを行い、事業を進めます。



※実施設計の概要は、町公式ウェブサイトでも閲覧できます。

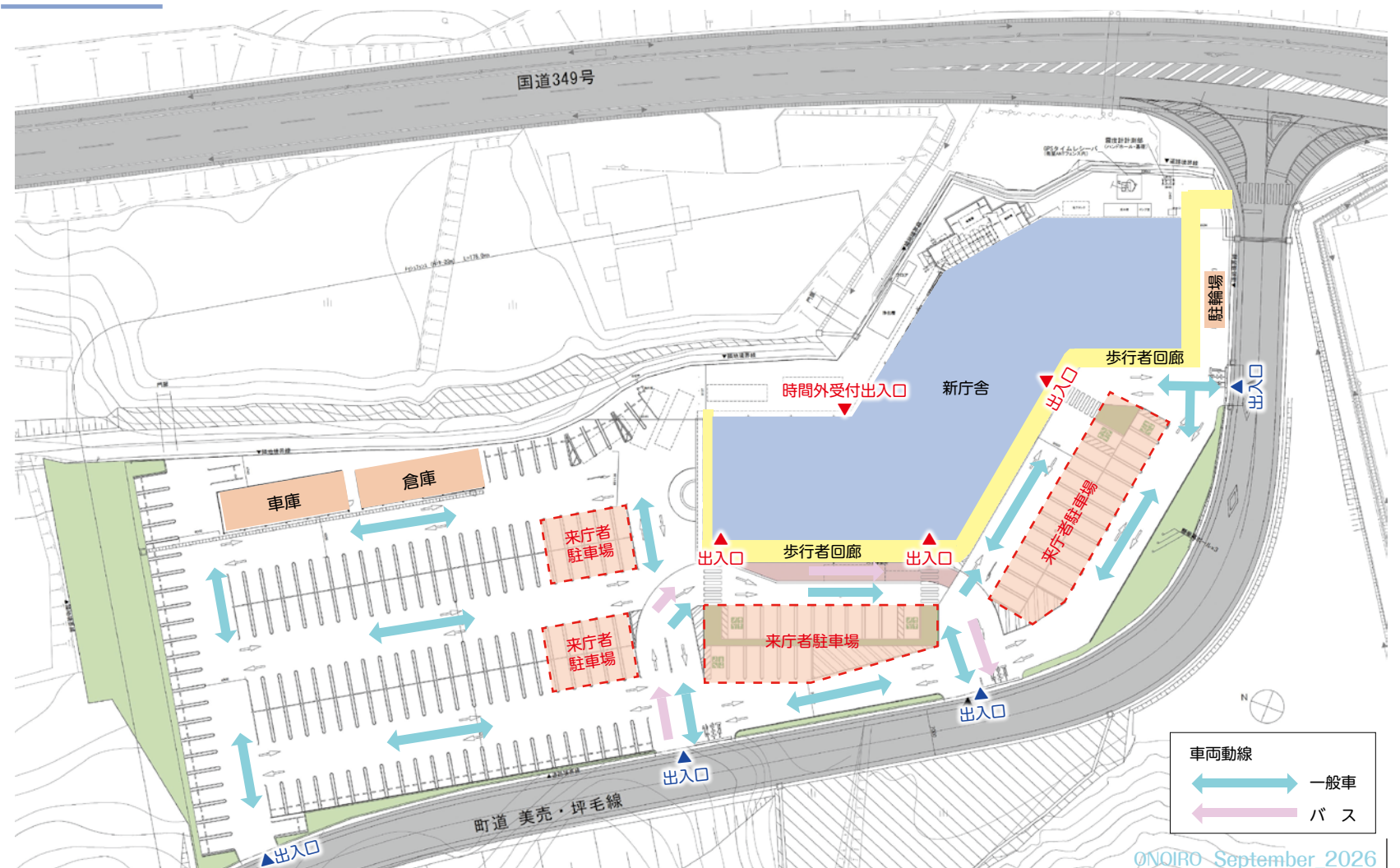
📍新庁舎整備室 ☎72-6937



模型写真



配置計画

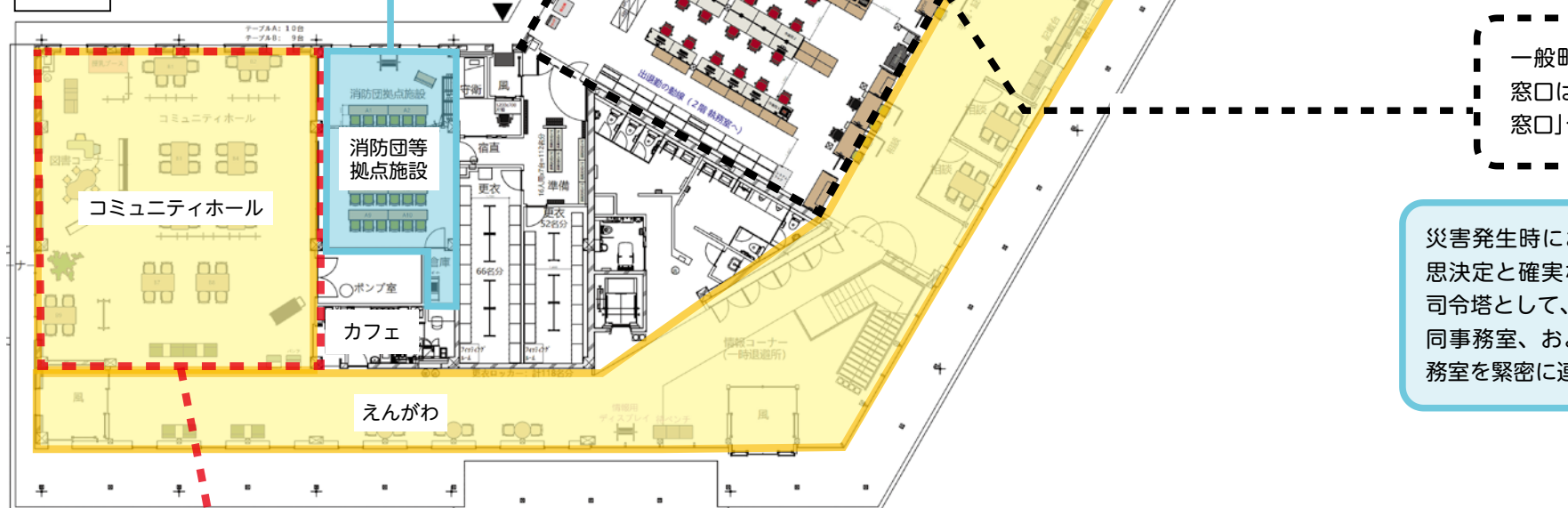


【保健センター】

保健・福祉・子育て支援の各機能を一体的に整備し、乳幼児健診・各種相談業務などを行うエリア
多目的スペースと近接させることで、乳幼児を連れた来庁者への迅速な対応が可能

コミュニティホールの隣接に配置し、平時は自主防災会や消防団の研修・訓練が可能なスペースとして整備

1階



1階 執務室、えんがわのイメージ



全体面積を確保しながら人数要件を変化させられるようにスライディングウォール(移動間仕切り)を採用し、面積効率化を図るために2階議会諸室を庁舎会議室として利用

一般市民の利用が多い担当課を中央棟1階に配置し、窓口は「案内」「支払」「手続」「相談」と区分し、「書かない窓口」や「ワンストップサービス」を可能とした動線計画

災害発生時において、迅速な意思決定と確実な情報集約を担う司令塔として、災害対策本部室、同事務室、および支援職員用執務室を緊密に連携させた配置

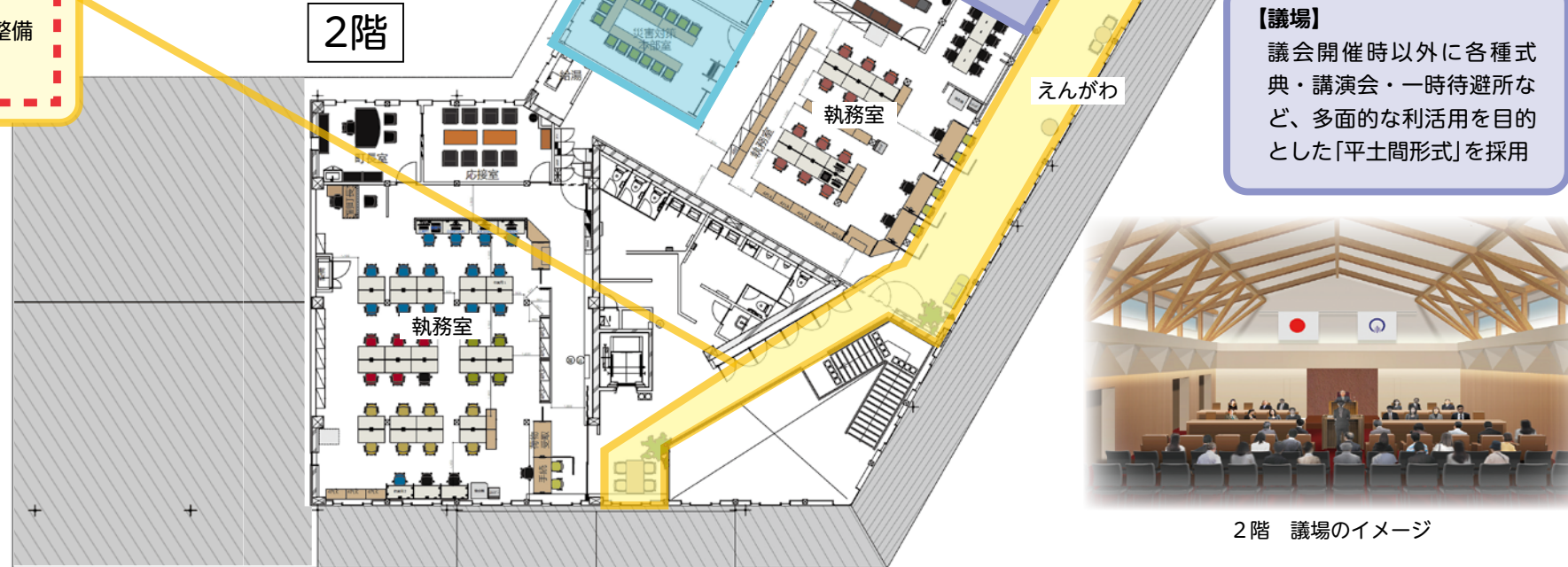
【コミュニティホール】

来庁者、ホール利用者が立ち寄りやすい位置とし、可動式家具を積極的に採用することで、図書閲覧、カフェ利用、談話、路線バス待合スペースなどさまざまな用途に応じた柔軟な空間構成を可能とするエリア
期日前投票や確定申告、町民イベントなどにも対応可能な拡張性を有し、多目的な住民交流の拠点として整備
「一時待避所」および「災害応急対策拠点」の役割を担うエリア



1階コミュニティホールのイメージ

2階



【議場】
議会開催時以外に各種式典・講演会・一時待避所など、多面的な利活用を目的とした「平土間形式」を採用



2階 議場のイメージ